

## 久留米大学を受診した患者さんへ

「大腸癌肺転移に対する外科手術成績と臨床病理学的予後因子に関する研究」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間：平成 16 年 4 月から平成 24 年 12 月まで
- 2) 受診科：呼吸器外科
- 3) 対象疾患名：転移性肺癌(大腸癌肺転移)
- 4) 使用する情報：大腸癌および転移性肺癌の臨床病理学的特徴および再発/生存情報

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：久留米大学外科学講座  
研究代表者：外科学講座 教授 赤木由人  
研究分担者：外科学講座 教授 高森信三  
外科学講座 助教 横山新太郎

2) 研究の意義と目的：大腸癌の肺転移に対する手術治療(切除)は、現在有効な治療として国際的に受け入れられています。特に、肺にのみ転移病巣を認める患者さんにおいては多くの研究において手術治療が最も生命予後(寿命)を延長したと報告されています。その一方で、昨今の大腸癌に対する化学療法(抗がん剤治療)も劇的に進歩しており、手術後の生命予後も改善しています。

今研究では、上記期間内に当院で手術を受けて頂いた患者さんの手術後の経過を検討することにより、どのような患者さんが手術によって恩恵を被るのかを明らかにするとともに、今後のより有意義な手術適応の決定に貢献する事を目的としています。

3) 研究の方法：カルテおよび画像データを参照し、原疾患である大腸癌の特徴、転移した肺病巣の特徴、術後経過を統計学的に検討します。

4) 研究期間：平成 27 年 12 月倫理委員会承認後～平成 32 年 11 月まで

5) 上記の情報の使用を選定した理由：上記研究の目的の達成と今後の患者さんへの貢献に患者さんの臨床情報が不可欠のため。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：本研究では患者さんの疾患や術後経過（再発、生存）の情報を使用させていただきますが、結果からの個人の特定は不可能です。患者情報を扱う際にも匿名化することにより個人の名前、住所などは記載せず、秘密は厳守致します。

7) 研究成果の発表の方法：研究結果は学会や論文にて発表予定ですが、内容に個人情報が含まれることはありません。

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

（代表者氏名）（所属、職名）久留米大学外科学講座 教授 赤木由人

（住所）福岡県久留米市旭町 67 久留米大学外科学講座

（TEL）0942-31-7566

（FAX）0942-34-0709